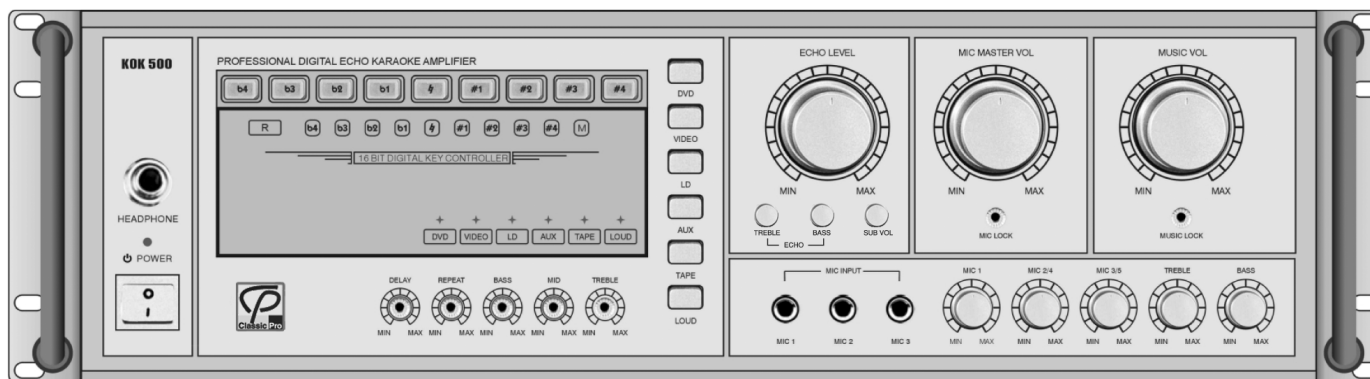




# KOK 500

Professional  
Karaoke  
Amplifier

SOUND BY PERFECTION



取扱説明書



**株式会社サウンドハウス**

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958  
TEL: 0476(22)9333 FAX: 0476(22)9334  
<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)

## はじめに

この度は、CLASSIC PRO社 KOK500をお買い上げ頂き、誠に有り難うございます。

KOK500の性能をフルに発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読み下さい。尚、お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管して下さい。

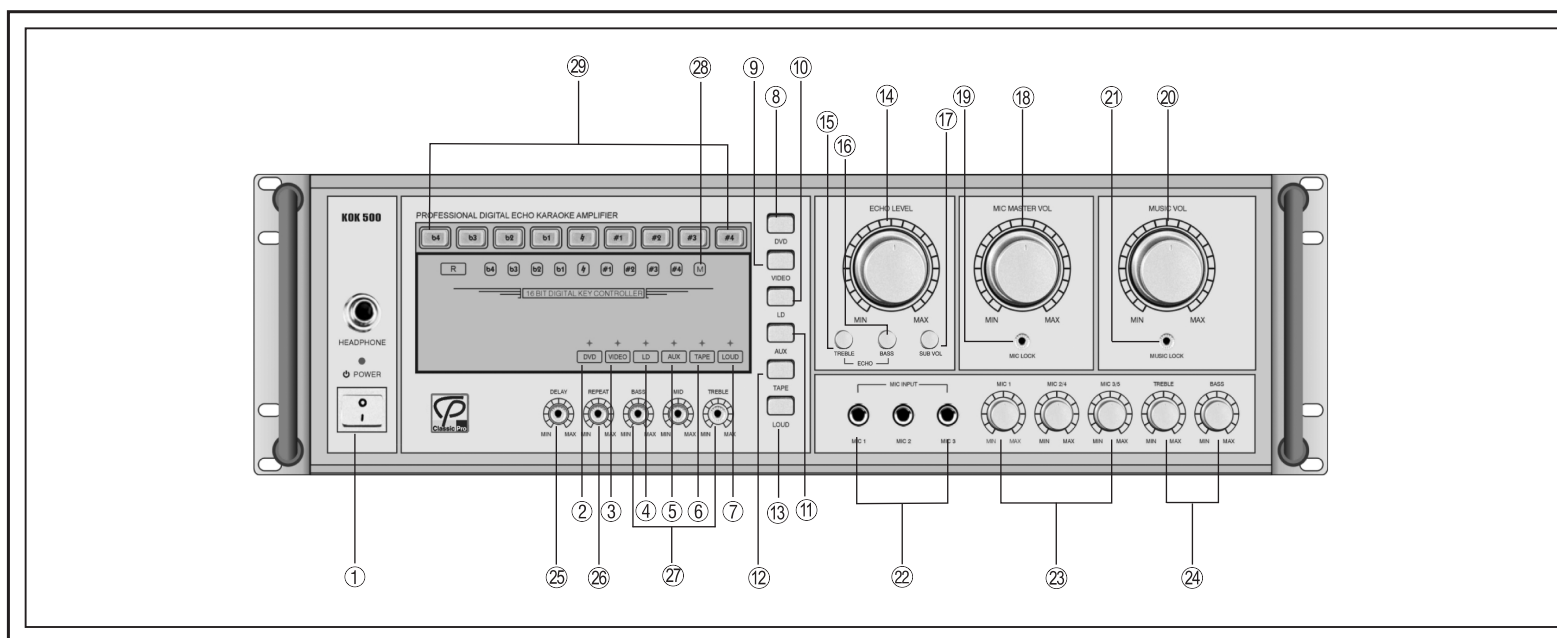
## ご使用の前に

1. この取扱説明書に従って操作して下さい。
2. 水には大変弱いので、雨などがかからないよう充分ご注意下さい。
3. 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動及び輸送時には大きな衝撃が加わらないようにして下さい。
4. 本機の設置場所は直射日光の当たる場所やストーブの直前など、高温になりやすい場所を避け、なるべく通気性の良い場所で御使用下さい。
5. 定格電圧AC100V、50/60Hzで御使用下さい。
6. 電源コードは機材への挟みこみ等、無理な力が加わらないよう、ご注意下さい。
7. 故障や感電事故を防止すると共に、性能を維持する為にも、ケースを開けて内部に触れたりしないで下さい。修理が必要な時には、販売店、もしくは輸入代理店までお問い合わせ下さい。

## 特 長

- 16 bit、9ステップ・デジタル・キーチェンジャー（4シャープ、4フラット）
- 20 bitデジタル・エコー・エフェクト、エコーリピート調整可能
- デジタル・チューン・コントロール
- オーディオ入力ステレオ5系統、DVDなど映像3系統のソースの入力が可能
- ボリューム、エフェクト用隠しコントロール・ノブ装備
- ボリューム、エフェクト、モータードライブ・ノブ装備
- ビデオ、オーディオの自動シンクロ機能
- フロント及びリアパネル両方に合計5系統のマイク入力搭載。3系統はチャンネルごとに独立してボリュームの個別操作が可能
- 180W+180W(8Ω)高出力パワーアンプ内蔵
- マルチスピード冷却ファン搭載（ロー・ノイズ・タイプ）
- 赤外線リモコン付属
- 3Uラックマウントキット付属

## 各部の名称と機能 フロント・パネル



### ① 電源スイッチ：

このスイッチを押すとアンプの電源が「ON」になります。もう一度押すと電源が「OFF」になります。

### ② DVD LED

DVD入力に音声およびビデオ信号が入力されていることを示します。

### ③ VIDEO LED

VIDEO入力に音声およびビデオ信号が入力されていることを示します。

### ④ LD LED

LD入力に音声およびビデオ信号が入力されていることを示します。

### ⑤ AUX LED

AUX入力に音声及びビデオ信号が入力されていることを示します。

### ⑥ TAPE LED

テープ入力に音声信号が入力されていることを示します。

### ⑦ ラウドネス表示LED

このLED表示が点灯している場合、ラウドネス機能が作動している事を表します。ラウドネス機能が作動すると、高域と低域のレベルが上がります。LED表示が消灯している場合は通常モードを表します。

### ⑧ DVD入力コントロール・ボタン

DVD機能を作動させます。

### ⑨ VIDEO入力コントロール・ボタン

ビデオ機能を作動させます。

### ⑩ LD入力コントロール・ボタン

LD機能を作動させます。

### ⑪ AUX入力コントロール・ボタン

AUX機能を作動させます。

### ⑫ TAPE入力コントロール・ボタン

テープ音声入力を作動させます。

### ⑬ ラウドネス・コントロール・ボタン

ボタンを「ON」にするとラウドネス機能が作動します（高、低域がブーストされます）。もう一度ボタンを押して「OFF」にすると、通常モードに戻ります。

### ⑭ デジタル・エコー・レベル・コントロール

マイクのエコーのかかり具合を調節します。

## 各部の名称と機能 フロント・パネル (つづき)

- ⑮ **ECHO TREBLE (エコー・トレブル)**  
エコーの高域成分を調節します。ツマミを右に回すと高域が強調されます。
- ⑯ **ECHO BASS (エコー・ベース)**  
エコーの低域成分を調節します。ツマミを右に回すと低域が強調されます。
- ⑰ **SUB VOL(サブ・ボリューム)**  
SUB OUTの音量を調節します。
- ⑱ **マイク・マスター・レベル・コントロール**  
マイク出力全体の音量を調節できます。
- ⑲ **マイクボリューム設定のロック機能**  
マイクボリュームつまみの最大音を設定します。マイナスドライバー\*で調整してください。
- ⑳ **ミュージック・レベル・コントロール**  
ミュージックのメイン出力の音量を調節できます(アンプを使用していない時は必ず最低音量に設定して下さい。最大音量に設定すると、スピーカー・システムにダメージを与える恐れがあります)。
- ㉑ **ミュージックボリューム設定のロック機能**  
ミュージックボリュームつまみの最大音を設定します。マイナスドライバー\*で調整してください。
- ㉒ **マイク入力 (マイク1、2、3チャンネル用)**  
多人数でカラオケをお楽しみいただけるよう、KOK500には複数のマイク入力搭載してあります。各マイク入力端子にマイクケーブル(本製品に含まれておりません)を差し込んで下さい。
- ㉓ **個別マイクレベル調整**  
多人数でカラオケを楽しめるようフロントパネルに1、2、3、リアパネルに4、5マイク入力チャンネルを搭載。1は独立、2、4と3、5のコントロールは兼用です。
- ㉔ **トレブル、ベース**  
低域と高域のトーン・コントロールです。
- ㉕ **エコー調整**  
エコーの間隔を調節します。間隔を長くしたい場合は右へ、短くしたい場合は左へ、マイナス・ドライバー\*を使って回して下さい。
- ㉖ **エコー・リピート回数調整**  
エコーの回数を調節します。エコーの回数を多くしたい場合は右へ、少なくしたい場合は左へ、マイナス・ドライバー\*を使って調節して下さい。
- ㉗ **マイク音質調整 (低、中、高域)**  
マイクの低、中、高域を調節します。マイナス・ドライバー\*を使って調節して下さい。
- ㉘ **MモードLED**  
Mモードに設定すると音量をユーザーが設定できます(LEDが点灯)。下記参照。
- ㉙ **キー・トーン・コントロール・アクセス・ボタン**  
ボタンを押すと、あなたの歌声に合わせ、曲の音階を変えることができます。♯は半音ずつ上がり、♭は半音ずつ下がります。中央のボタン(🔼)を押すと元の音階に戻ります。又は曲を変更、停止しても元の音階に戻ります。

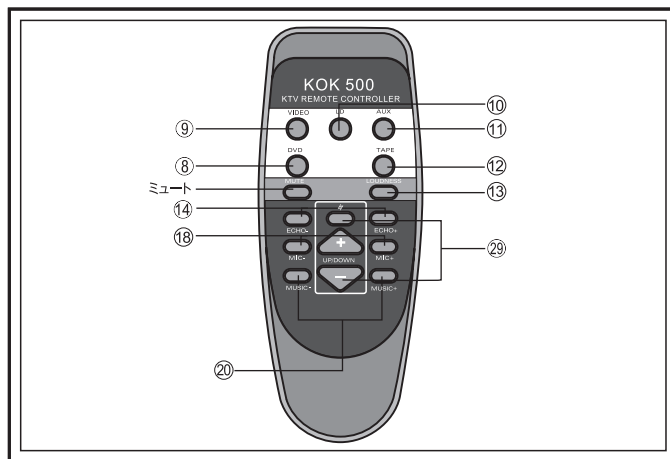
※マイナスドライバーは本製品に付属していません。

### □ Mモード・プリセットレベルの変更方法

- 1.MICの設定方法：電源ON直後、“**♯**”と“**♭1**”を押すと“M”という文字が点灯、表示されます。自動でMIC VOLがミニマムレベルまで調節され、その後“**♯**”と“**#1**”ボタンを同時に押すと自分が設定したいレベルに動きます(時計回りに動きます)。この設定は自動的に保存され、次回よりスイッチをオンにすると、設定された値まで自動的に調整されます。ユーザープリセットで動作中は“M”という文字が常時点灯しています。
- 2.MUSICの設定方法：電源ON直後、“**♯**”と“**♭1**”を押すと“M”という文字が点灯、表示されます。自動でMUSIC VOLがミニマムレベルまで調節され、その後“**♯**”と“**#2**”ボタンを同時に押すと自分が設定したいレベルに動きます(時計回りに動きます)。この設定は自動的に保存され、次回よりスイッチをオンにすると、設定された値まで自動的に調整されます。ユーザープリセットで動作中は“M”という文字が常時点灯しています。
- 3.ユーザープリセットを設定した状態から初期のプリセット状態に戻す時：電源ON直後、“**♯**”と“**♭1**”を押すと“M”という文字が消灯して基本プリセットモードに戻ります。その後“M”という文字は常時点灯していません。
- 4.記憶したユーザープリセットは“M”を消灯させても保持されていますので再度“M”を点灯させるだけでユーザーメモリが呼び出されます。
- 5.ECHOポジションのユーザープリセットはサポートされていません。



## 各部の名称と機能 ワイヤレス・リモート・コントローラー

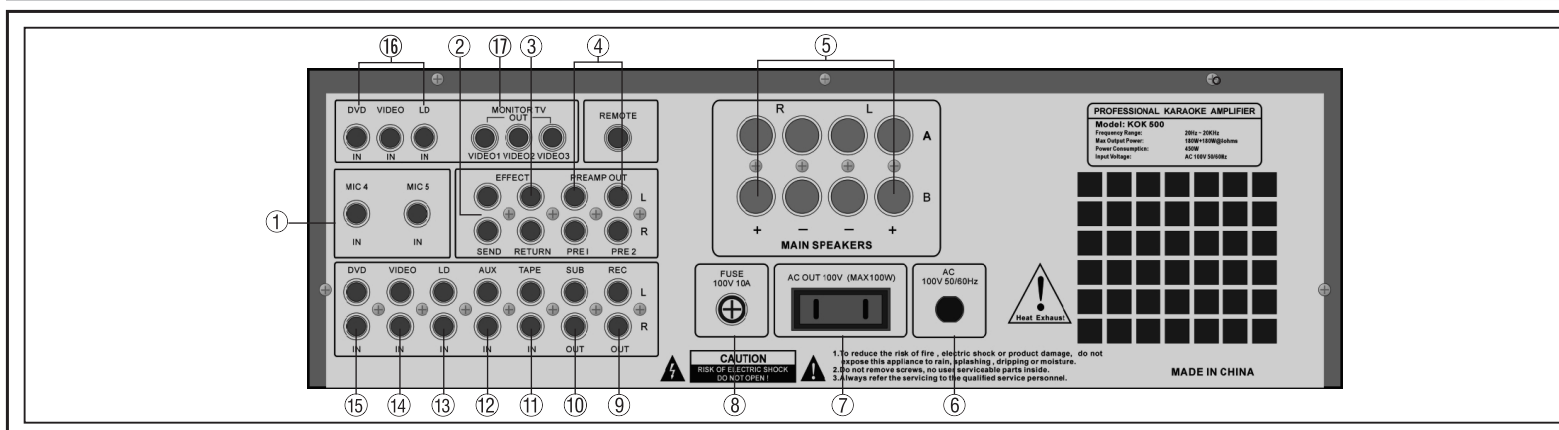


各ボタンの解説は番号を元にマニュアルを参照して下さい。

### <電池の取り付けについて>

1. 裏面バッテリー・カバーを外して単四電池2本を取り付けて下さい。  
内部の+/-マークと電池の+極、-極が一致するように取り付けて下さい。
2. 異なる種類の電池、又は新旧の電池の併用はしないで下さい。
3. リモート・コントロール機能が鈍ってきたら新しい電池と交換して下さい。
4. 長期間使用しない場合は、液漏れ、サビを防ぐため電池を外して下さい。
5. 電池が液漏れした場合は新しい電池を入れる前に必ず液体を拭き取って下さい。

## 各部の名称と機能 リア・パネル



- ① **予備マイク入力（マイク4、5）**  
 多人数でカラオケをお楽しみの際に便利な予備マイク入力です。コントロールは2、3と共通です。
- ② **サウンド・エフェクト出力（センド）**  
 KOK500のオーディオ信号を外部のプロセッサーやイコライザーへ送ります。
- ③ **サウンド・エフェクト入力（リターン）**  
 外部のプロセッサーやイコライザーで処理されたオーディオ信号を入力します。  
 注意：②と③はジャンパーピンで接続されています。通常ご使用の際はジャンパーピンは抜かずにご使用下さい。抜いた場合信号がパワーアンプへ流れなくなる為スピーカー端子より音が出なくなります。
- ④ **プリ・アンプ出力**  
 パワーアンプより前の信号を出力します。ボーカルと音楽の信号をミックスし、エコーやイコライジングなどの音響補正をして出力する端子です。
- ⑤ **スピーカー用出力端子**  
 ボーカルと音楽の信号をミックスし、エコーやイコライジングなどの音響補正後、パワーアンプで増幅された信号を出力する端子です。インピーダンス4～16Ωのスピーカーを接続して下さい。それ以下のインピーダンスのスピーカーを接続すると故障の原因となります。
- ⑥ **AC電源コード**  
 100VAC、50/60Hzの電源に接続して下さい。
- ⑦ **AC電源コンセント**  
 100V/100Wの電源を供給できます。KOK500と接続する電気製品の電源プラグをこのコンセントに接続して下さい。このコンセントからは電源が常時供給されています。
- ⑧ **マスター・ヒューズ（100V/10A）**  
 アンプへの過負荷を防ぐために安全ヒューズが取り付けられています。
- ⑨ **レコーダー用出力端子**  
 録音用のライン出力です。REC OUTの出力は、ミュージックボリュームで可変するため、録音レベルは前面のミュージックボリュームで調整します。また、スピーカーへの音声出力はMUSIC LOCKにて調整してください。
- ⑩ **サブ出力端子**  
 予備の出力端子です。ただしこの出力は、キーコントロール機能が効きません。
- ⑪ **テープ入力端子**  
 テープデッキの音声信号を入力します。
- ⑫ **AUXライン入力端子**  
 カセット・デッキ、LD、MD、ビデオデッキ、CD+グラフィック・プレーヤー等の音声信号を入力します。
- ⑬ **LD入力端子**  
 LDプレーヤーの音声信号を入力します。
- ⑭ **VIDEO入力端子**  
 ビデオデッキの音声信号を入力します。
- ⑮ **DVD入力端子**  
 DVDプレーヤーの音声信号を入力します。
- ⑯ **映像入力**  
 DVD、VIDEO、LDの映像信号を入力します。
- ⑰ **MONITOR TV OUT**  
 モニターテレビに接続します。同時に3系統まで出力可能です。モニターテレビまでの同軸ケーブルは75Ωを使用し、1台あたりの長さは50mまでとしてください。

## ご注意

### 1. 必ず通気性の良い場所に設置して下さい。

針、貴金属、硬貨等を本体内部に入れないで下さい。火事や感電の恐れがあります。本体後方と壁の間は8cm以上空け、本体の冷却ファンの周りに通気を妨げる物が無いことを確認して下さい。本体は直射日光が当たらず、涼しい場所に設置して下さい。

### 2. 水と湿気

落雷が発生した際には電源からコードを引き抜いて下さい。本体を浴室、洗面所、プールなどの高温多湿の場所、またはホコリの多い場所に設置しないで下さい。花瓶等の水を含む物や重い物を本体の上に置かないで下さい。

### 3. 電源

必ず100VAC、50/60Hzの電源に接続して下さい。電源の過負荷、過度のタコ足配線は危険ですのでお止めください。また磨り減ったコードや壊れたプラグも危険ですので、必ず販売店又は正規代理店へ修理を依頼して下さい。電源コードを無理に曲げたり、上に重いものを載せないで下さい。コードを持ってプラグを引き抜いたり、濡れた手でプラグを引き抜かないで下さい。電源を「ON」にする前にコードの接続が正しい事を確かめて下さい。不自然なノイズ、匂い、煙が出たら直ちに電源コードを引き抜き、販売店又は正規代理店へ修理を依頼して下さい。

### 4. 修理

本体カバーを開けるのは危険です。修理はCLASSIC PRO販売店又は(株)サウンドハウスへ依頼して下さい。

### 5. 掃除

スプレーなどの可燃物を近づけないで下さい。掃除をする前に必ず電源コードを抜いて下さい。柔らかい布を使って汚れを拭き取って下さい。直接水や殺虫剤を吹き付けたり、ベンジン、シンナー、アルコール等の溶剤で本体を拭かないで下さい。

## 本体仕様

|                      |                                      |              |                                |
|----------------------|--------------------------------------|--------------|--------------------------------|
| 出力                   | 180W + 180W (8Ω)<br>250W + 250W (4Ω) | 出力感度/インピーダンス |                                |
| 周波数特性                | 20Hz ~ 20kHz ±1dB                    | オーディオ周波数     | 0.707V/1kΩ                     |
| 入力感度/インピーダンス         |                                      | 出カインピーダンス    |                                |
| マイク                  | 5mV ~ 100mV/600Ω                     | ショート防止       | 4 ~ 16Ω                        |
| ライン                  | 250mV/47kΩ                           | インピーダンス      | 8Ω                             |
| ミュージック/マイク トーンコントロール |                                      | 電圧           | AC100V 50/60Hz                 |
| ミュージック               |                                      | 消費電力         | 450W                           |
| 低域                   | ±8dB                                 | 電源プラグ        | AC100V 10A                     |
| 高域                   | ±8dB                                 | 寸法           | 500×425×185mm<br>(3Uラックマウント可能) |
| マイク                  |                                      |              |                                |
| 低域                   | ±5dB                                 |              |                                |
| 高域                   | ±5dB                                 |              |                                |

# 保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

## お買い上げ日より 1 年間有効

### ■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適當（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合  
（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

### ●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

### ●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

### ●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。